



ふれあい通信

「ふれあい通信」は、
坂下病院ホームページでもご覧いただけます。
■ホームページアドレス <http://sakashita-hp.jp/>
■電話 0573-75-3118 ・ FAX 0573-75-2590

■編集・発行：国保坂下病院広報委員会

地方への赴任

名誉院長 高山 哲夫

1か月の研修予定であったS君が「もう少し此処で研修したいです」と切り出したのは研修の終わり頃でした。「大学の許可があれば何も問題ないよ」と答えたのですが、S君は渋る大学の研修担当者を説き伏せ再びやって来ました。今度は2か月です。その時からほぼマンツーマンの研修が始まりました。

毎朝、毎晩S君は研修の報告に来ます。化石医師も自分の持てるものは全て伝えるつもりで接しました。わずか2か月の間にS君は上部内視鏡検査、下部内視鏡検査とポリープ切除、化石医師の一番の専門である胆膵の内視鏡検査および内視鏡的総胆管結石治療まで一人で出来るようになりました。さらに食べられない高齢者に対して行う中心静脈栄養および静脈ポートの埋め込みすら安心して任せられるようになりました。いずれも通常はもっと長い期間でマスターする技術です。

更に素晴らしいことは化石医師の指示の下、ある臨床結果をまとめて論文にしたことです。学問ばかりではありません。休みには一緒に海釣りに出かけたり、化石医師の得意なそば打ちも経験しました。こうしたS君を評価して化石医師は優秀な研修医にいつも贈呈する聴診器をあげました。S君の素晴らしいことはあげた翌日に「頂いた聴診器使っています」とわざわざ見せに来たことです。

さて、このように素晴らしい研修をしたS君は研修の終わりに「ここは大好きです。教授の許可があれば何時でも来ます。是非教授を説得して下さい」と言い終えて去って行きました。地域医療を考える中で医師の偏在が問題になっています。自治医大だけでは機能せず各大学医学部に地域枠なるものも設置されました。

しかし、最も困っている現場の人間にとってはどれだけ解決の道になるか疑問が残ります。さらに新医師臨床研修制度の導入頃から強化され始めた専門医制度も医師の地方への赴任の障害になると考えられています。地方への赴任は医師にとって嫌なことか？昔大学に医師派遣をお願いに出向いた頃「私も若い頃行ったことがある」と言われる教授が沢山居ました。そんな教授は地域のことを良く理解しておられ随分と応援して頂きました。また「若い頃田舎に赴任して地域の方々と酒を酌み交わし地域のことを話して良かった」「まだ若輩の身で町長さんや村長さんと膝を接して地域医療について語り合った」など若い頃に地方で仕事した医師の多くは良き思い出として語っています。このような経験や知見から「若い医師は決して地方への赴任を嫌っていない。地方では人と人の濃い触れ合いが可能であり、医師としての重責も改めて感じる事ができる」と化石医師は考えています。こうした観点から医師のキャリア形成の中で3年くらいは地方勤務を義務付けることも良いのではないかと思います。「そんなことを義務付けることは個人の自由を奪う人権侵害だ」との反対意見もあると聞きます。多くの企業では新人の頃には地方勤務を経験させています。それでも人権侵害だとの声は聞きません。一生地方勤務を義務付ければ人権侵害となるかも知れません。しかし「自分の存在が必要とされる地方勤務を多くの若手医師は拒否しないだろう。」と思います。そのような地方勤務で培われた医師の心は将来どんな方向に進んでも決して無駄にはならないでしょう。

S君との交流は今も続いています。





『病院めぐり』～各部署の近況等々～

医事課

こんにちは、医事課です。よろしくお願いします。

医事課は課長以下、主に厚生労働省や保健所への届出手続きなどを担う職員（中津川市民病院兼務）が1名、医療相談係兼退院調整係（社会福祉士）1名、退院調整係（看護師）1名、医事係・地域医療連携係・医師事務補助係を担う臨時職員5名と窓口業務などの委託受けているニチイ学館の職員36名が在籍しています。

医療相談係は医療・福祉制度に関すること、支払いに関する患者様のお困りごとなどのご相談を承っております。

退院調整係は患者様が退院後もすこやかに過ごしていただける様に適切な退院先・時期などの調整を入院当初から行っています。時には退院後の様子を拝見するためにご自宅へお伺いすることもあります。

医事係は各種統計・報告事務、市町村への予防接種の請求事務や介護保険の主治医意見書に関する事務などを、地域医療連携係は医療に関する紹介業務全般を、医師事務補助係は診断書などの文書作成補助・カルテへの代行入力など勤務医の負担軽減を図るための業務を行っています。

ニチイ学館職員は①総合受付・②再診受付では診療受付一般・書類受付・各種案内などを3名体制で、③お支払いでは外来会計・入院会計を2名体制で、④計算では外来受診された患者様の医療費の計算を4名体制で、また入院患者様の医療費の計算を3名体制で、⑤⑥⑦ブロック受付では外来患者様の到着確認・次回診察予約などを7名体制で、⑧放射線科受付ではレントゲン撮影などの受付・案内を1名体制で、健診棟では健康診断の受付案内を5名体制で行っています。

また、クラーク業務として、耳鼻咽喉科では医師の補助を2名体制で、各病棟では看護師の負担軽減のための事務を2名体制で行っています。

その他、各担当において患者様からの負担額以外の医療費に関して、個々の診療報酬明細書（レセプト）を作成・点検をして国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金などへ請求する業務も行っています。

わたくしたちは病院内で事務的な部署ではありますが、患者様に密接にかかわる業務に携わらせていただいております。至らぬ点多々あるかと思いますが、お気づきの点がございましたらお気軽にお声がけいただけますようお願いいたします。



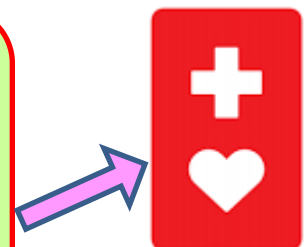
平成29年8月1日よりヘルプマークの配布を開始！

岐阜県では、「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」の施行を踏まえ、「人にやさしい岐阜県づくり」の一環としてヘルプマークを導入し、8月1日より配布を開始しています。

ヘルプマークとは、義足や人工関節を利用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方々が、バッグ等に身に付けることで、周囲の方に手助けを必要とすることや「見えない障がい」への理解を求めるものです。

ヘルプマークの利用者を見かけたら「思いやりのある行動」をとっていただくようお願いします。

手のひらサイズの長方形のストラップになっています。赤地に白色で十字マークとハートが描かれており、赤は「ヘルプ＝普通の状態ではない」ことを発信し、ハートは相手に「ヘルプする気持ちを持っていただく」という意味を含んでいます。また、裏面には、必要な支援が記載されたシールが貼ってあります。



《このマークです》

ALOHA～

坂下 HULA サークル Malama (マラマ) です。

先日、4 東病棟のレクリエーションで HULA を躍らせていただきました。

毎年、夏のこの時期に、声を掛けていただき、躍らせて頂けるのを楽しみにしていました。

HULA は、ハワイ語と英語の曲が多いのですが、今回は、皆さんと一緒に歌って踊れるように、日本語の曲を多く選びました。

1 曲踊るごとに、緊張されていた皆さんの顔が徐々にほぐれ、笑顔になり、最後は一緒に手を動かし、踊れて嬉しかったです。皆さんの笑顔が私たちの喜びです。

これからも、私たちの HULA を通して、皆さんに笑顔を届けられるよう、踊っていきます。また、来年笑顔で会えるのを楽しみにしています。

MAHALO

坂下 HULA サークル Malama (マラマ) 代表 古井



【坂下 HULA サークル Malama (マラマ) のみなさん】

高校生看護体験

看護部

8 月 18 日 (金) にドクターカーに興味があるという坂下高校 2 年生の男子生徒 1 名が参加されました。

坂下病院にはドクターカーはないので、看護師として看護体験をしていただきました。参加された生徒さんは車いすを押す体験をした際に、「スピードの調整が難しかった。患者さんとコミュニケーションがとれて嬉しかった。」と感想を言われていました。

こういった活動を通して、今後、医療に携わる職業に今まで以上に興味を持っていただき、将来この地域で看護師として活躍をしてもらえたらと思います。

暑い中、一日お疲れ様でした！



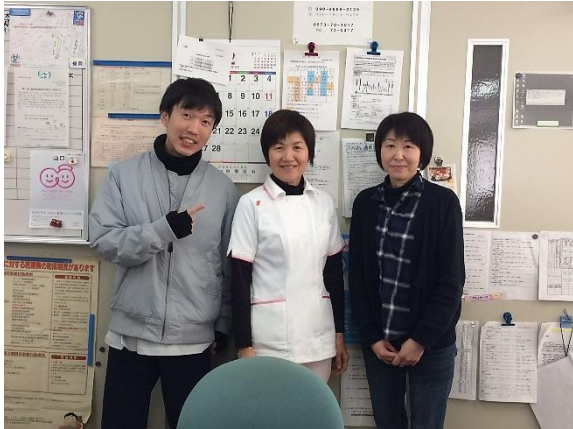
【看護体験の様子】

《新規職員の紹介》

平成29年8月より島崎看護師がほほえみの一員として加わりました。

8月からは11人（1人は半日勤務）の体制となります。よろしくお願い致します。

どうぞよろしく
お願いいたします。



【訪問看護ステーションほほえみ】のスタッフ



看護師 島崎 幸子

『8月より訪問看護ステーションほほえみへ配属となりました。』

在宅療養されている利用者様、ご家族の方が安心して生活できるようにお手伝いしたいと思います。よろしくお願い致します。』

坂下病院で乳がん(マンモグラフィー)日曜健診を行います！



坂下病院では JMS プログラム（ジャパン・マンモグラフィー・サンデー）に賛同し、多忙な平日を過ごす女性のため、10月15日（日）に乳がん検査（マンモグラフィー検査）を行います。検査は女性技師にて対応させていただきます。またオプションとして骨密度測定検査が受けられます。

対象者：中津川市・南木曾町・大桑村に住居票がある方

検査料：5,400円（税込）

■ 中津川市乳がん検診対象者（検査当日に40歳以上の方）・・・700円（税込）

■ 中津川市・南木曾町・大桑村無料クーポン対象者・・・無料

オプション：骨密度測定検査（踵骨超音波法）1,080円（税込）

《*申し込み・お問い合わせ 国保坂下病院 地域医療科 ☎0573-75-3729 まで*》



今まで乳がん検査に行ったことがない方、平日だと忙しいため行くことができない方など日曜日に受診出来るこの機会に「乳がん検診」を受けてみませんか。乳がんは早期発見・早期治療すれば「ほとんどが治るがん」です。